事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和 5 年 6 月 23 日

公表：令和 5 年 7 月 1 日　　事業所名　チャイルドウィッシュ真伝

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		利用人数が多い時には適切なスペースを確保できるように備品を移動させるなど、適宜調整をしています。	子どもの年齢や発達課題に応じて、今後も適切なスペースを確保できる工夫を行って行きたいと思います。
	2	職員の配置数は適切である	6		毎月、配置数が適正となるようにシフトを組んでいます。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされ	6		勉強をする場所や遊ぶ場所を階数を変えたり、部屋を変えたりして構造化しています。	今後医療ケア児の利用などが検討された場合などはバリアフリー化の配慮を行いたいと考えています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		療育の一環として休日は子ども達に掃除をしてもらうが、必ず職員が付き添う形で行っている。また、子ども達の掃除だけでは行き届かない部分は子ども達が来所する前後に職員が掃除をして	子ども達の掃除の際の声掛けなどを工夫し、子ども達自身が清潔保持に努める意識を育んでいきたいと思います。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6		より良い療育ができるよう、複数の職員が意見交換をしながらプランニングをし、子どもの様子に合わせて適宜修正を加えていま	職員間で意見交換がしやすい関係性を維持できるように努めてまいります。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		保護者向けの評価表によるアンケートを活用し、保護者の意向の収集に努めております。また、その際に保護者の負担にならない様、早めに配布するなどの工夫をしています。提出期限が近づいた時には保護者に提出依頼のご連絡をし、集計後は事業所内の会議の議題として取り扱	日常の中でも保護者のニーズや意向を把握できるように保護者との関係維持にも努めてまいります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		自己評価などの振り返りは、会議にて行っています。会報での公開はしておりませんが、ホームページにて公開をしています。	どういう形での情報公開が保護者や利用を検討されている方に伝わりやすいかなどを考えながら、会報など別の手段での公開も検討していきたいと思います。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	3		他事業所との内部監査を行う事で業務の改善に取り組んでいきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		懇談会で保護者のニーズを把握しつつ、日常のかかわりの中で子ども達に「どうしたいか」と本人のニーズを確認しながら支援計画を考えています。	様々な方面からの視点を取り入れたアセスメントを使用しています。今後も課題を客観的に分析したうえで計画書作成ができるように、職員が統一した認識を持つようにしていきたいと思います。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用	6			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容	6		職員会議や朝礼の場での職員間の情報共有や支援方法の検討をはじめ、子ども達の個性に合わせた個別の支援方法を考案しています。	職員間で意見交換がしやすい関係性を維持できるように努めてまいります。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		朝礼などの場で職員全員で多様な意見を出し合い、支援方法を検討しています。また、検討・共有した内容に応じて、当日の役割分担などを行って対応しています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		利用児の送迎後にその日の振り返りを行い、各自の感じた改善点などを共有し、その後の改善につなげています。シフトや勤務時間の都合で直接対話できない場合は、情報共有ノートを介して子どもの様子や振り返りの共有	職員間で意見交換がしやすい関係性を維持できるように努めてまいります。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		利用児ごとに記録を行い、支援の効果の検証と改善を行ってい	

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		毎月の事業所内会議などの場で現状の確認と、計画の見直しなどを職員全員で検討しています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	4		関係機関の連携について、非常勤職員や新任職員への共有が不十分であったため、今後は情報共有のボックスなどを設置し、各機関からの連絡などの情報共有を徹底していきます。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	4	持病などのある児への緊急対応のフローチャートを掲示してあります。	
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	3		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	3	保護者を介して情報共有を行っております。	保護者や児を中心に支援者同士の関係性を構築し、より良いサポートが行えるように今後も日々対応を検討していく予定です。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	3		現在、該当者はおりません。今後該当者が利用される場合には保護者の同意を得た上で、協働していきたいと考えています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3		視知覚学習支援センターで学んだことを療育へ取り入れ、適宜指示を頂いています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	2	大多数での交流はコロナ渦の影響もあり自粛しておりました。現在は同グループで働く職員の子どもを預かり、利用児と同様に事業所での活動を行っています。	今後も、障害のない子どもと交流する機会を確保できるよう努めていきたいと思います。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	5		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			送迎時にお母様とは共通理解を深めています。お父様との事業所スタッフがお会いする機会は少ないですが、父親会の開催や懇談会へのお父様のご参加などにより、共通理解を深める努力をしております。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	5	1	懇談会の場を設けて実施しています。また、保護者からご相談を受けた際に管理者を通して事業所での対応の工夫などをお伝えする事もあ	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	契約時にご説明するとともに、事業所内で重要書類を掲示して行っております。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	1	毎回書面を見せながら口頭で説明をしています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	保護者からご相談を受けた際に管理者を通して事業所での対応の工夫などをお伝えするなどの対応を行ってい	様々な制度や福祉事業所などについて今後も会報を通して伝えていく予定です。そのために、職員全体が知識を深めるため、自己研鑽に努めていきたいと考えています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1	送迎時や懇談会の際に相談に応じています。	保護者会の開催など、保護者様が参加できる企画を実施し、子育ての不安を分かち合える輪を広げる事も検討しています。

	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		定期的な会報の発行を行っています。	会報で様々な制度や福祉事業所などについて伝えていく事が出来る様、職員全体が研鑽を続けていきたいと考えています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6		外部への個人情報の持ち出しは一切禁止しております。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			手話などの意思伝達方法の取得を事業所全体で取り扱っていきたいと思います。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6		コロナ渦のため自粛しておりました。今後、世情を見つつ、対応を検討してまいります。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		法人内でマニュアルを整備し、職員間で対応について共有しています。	保護者への周知は不十分な面もある為、台風接近時などはその都度事前にご連絡をしています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		火災・地震の避難訓練は毎年定期的に実施しておりま	変質者対策なども今後は取り入れていきたいと考えています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	定期的に各事業所の管理者が会議を行い、その情報を職員に伝達しています。	机上訓練や定期的な研修、情報共有を行い、職員の質の向上を目指します。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6			

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。